

令和6年度林業経営基盤強化対策事業

森林・林業・環境機械展示実演会研修

報告書

期間：令和6年10月19日(土)～令和6年10月21日(月)

研修場所：福井県スキージャム勝山（福井県勝山市）



(林業経営基盤強化対策協議会)

公益財団法人森林ネットおおいた

令和6年度林業経営基盤強化対策事業
森林・林業・環境機械展示実演会研修 報告書

期間：令和6年10月19日(土)～令和6年10月21日(月)

研修場所：福井県スキージャム勝山（福井県勝山市）

この事業は、県内の認定林業事業体における素材生産方式の合理化を目的として実施しています。令和6年度は福井県勝山市で開催された「2024 森林・林業・環境機械展示実演会」に参加し、素材生産の効率向上や労働災害防止等の経営改善を推進することを目的に研修を行いました。

1. 主な行程

日付	行程	備考
10/19 土	福岡空港 16:30（集合） 福岡空港 17:40➡小松空港 19:05 小松空港 19:30➡ホテル 20:30	移動日
10/20 日	ホテル 8:30➡10:00 福井県勝山市（研修） 15:00➡ホテル 17:00	
10/21 月	ホテル 11:00➡11:40 小松空港 12:55➡福岡空港 14:25（解散）	移動日

10月19日（土）は寒冷前線の通過に伴い、活発な雨雲が九州北部にかかった。暴風雨や雷雨の影響で福岡空港では、欠航や遅れが相次ぎ、出発便に40分の遅れが生じた。

2. 参加者

事業体名	
佐伯広域森林組合	A
佐伯広域森林組合	B
株式会社MC河津	C
株式会社MC河津	D
株式会社MC河津	E
株式会社MC河津	F
株式会社MC河津	G
株式会社MC河津	H
株式会社MC河津	I
株式会社MC河津	J
株式会社九州林機	K
株式会社九州林機	L
株式会社九州林機	N
有限会社綾垣林業	M
穴井林業	O
(公財) 森林ネットおおいた	P
(公財) 森林ネットおおいた	Q
(公財) 森林ネットおおいた事務局	
(公財) 森林ネットおおいた事務局	
(公財) 森林ネットおおいた事務局	

- ① 事業体
- | | |
|----------------|------------|
| 佐伯広域森林組合 | 2名 |
| 株式会社MC河津 | 8名 |
| 株式会社九州林機 | 3名 |
| 綾垣林業 | 1名 |
| 穴井林業 | 1名 |
| (公財) 森林ネットおおいた | 2名 (計 17名) |
- ② 事務局
- | | |
|--|----|
| | 3名 |
|--|----|
- 合計 20名

3. 研修概要

10月20日（日）森林・林業・環境機械展示実演会での研修

会場は福井県スキージャム勝山（福井県勝山市）の駐車場を活用した約5haの広大な展示会場に80の企業・団体がそれぞれブースを出展し、最新の高性能林業機械や防護服、ヘルメットなどの安全装備品、ドローン、森林情報機器といった幅広い製品・サービスの紹介があった。展示ブースでは出展担当者より最新技術の情報や意見交換を行い、デモンストレーション等を見学し自社での活用方法などを検討した。

2024 森林・林業・環境機械展示実演会（福井県）区画配置図（9月4日現在）



研修参加者

研修会場の様子



研修報告

佐伯広域森林組合 A

重機関係ではオイルクイックのデモしているブースが目立ちました。ブレーカーやグラップル等のアタッチメント脱着を30秒～1分以内の速さ、重機に乗ったままアタッチメントが変えられるのは便利そうでしたが、専用のアタッチメントを揃える必要性、耐久性はデモだけでは分かりませんでした。実際の使用感を含め検討したい。

緑産業の破砕機メーカーや現地に持って行ける移動式チップパー等の展示では、当組合でもチップの運搬問題があるので今後検討したい。ほか、ドローンや衛星通信を使用した作業情報等も佐伯では圏外エリアが多いので魅力を感じました。

研修報告

佐伯広域森林組合 B

無人機械（リモコン操作や遠隔操作）やバイオマス関係の機械が増えてきているように感じた。また、アタッチメントの交換を簡単にできるような仕組みにしている所も数社あり、作業の効率化、作業者の負担軽減を考えられていると感じた。

ハイブリッドシステム機や、小型ではあるが電動タイプの重機もあり環境面にも配慮する動きがみられた。個人的にはCANYCOM社の『コンクリート砂男』と株式会社TCL社の『ファイヤーショッカースティック』が気になった。過去にトラックではあるが車両火災があったので、公用車に消火器を積んでいると場所をとるので、『ファイヤーショッカースティック』の導入を検討したい。

ハスクバーナのWLC（世界伐木チャンピオンシップ）日本代表選手のデモや（株）やまびこの伐木競技デモは見ごたえがあつてよかった。





世界最強レベル、
初期消火の決定版。

GOOD DESIGN

世界45カ国で販売中!!

FIRE SHOKA STICK

ファイヤー ショーカー スティック

活用シーンは無限大!!

軽い コンパクト 人体にやさしい 持ちやすい 製作簡単
耐用年数が多い メンテナンスフリー 価格競争に強い



研修報告

株式会社MC河津 C

この度は研修に参加させていただき、ありがとうございます。

イワフジ工業の架線システム（油圧式集材機）架線式グラップルラジコンによる遠隔操作シュミレーションモニターを体験しました。荷掛け、荷下ろし作業が安全な場所から出来る集材システムは、今後の素材生産に必要なことだと思いました。

これを機に、安全に作業できる機械の導入を考えたいと思います。三日間、大変お世話になりました。

研修報告

株式会社MC河津 D

林業機械展示実演会に今回で3度ほど参加させていただきました。

林業機械の発展には目覚ましいものがあります。こんな機械があつたらいいなと思うものが次々と開発されて感動しました。ありがとうございました。

研修報告

株式会社MC河津 E

今回の研修を通じて、林業機械や林業に関する新しい取り組みや、車両等新しいモノに触れることが出来てとても良かった。

工夫された1台で何役もこなすアタッチメントや見たこともない、簡素化された架線集材機、データとリンクさせ、より見える化される技術など、より安全に、より少人数で効率的な作業が出来る機器や機械が見れた。自社でも導入すれば、すぐにでも使いたくなるものが多く、とてもいい勉強になった。これを機に、情報収集しながらより安全な作業に努める。

研修報告

株式会社MC河津 F

林業機械の進歩を知ることが出来た良い機会でした。簡素化された架線工法、ALL-IN-ONE化されたヘッドユニット、より効率化されたチップ化、根株等の破碎技術など林業技術の進歩を体験できました。こういった最新の林業機械で更なる林業の効率化が出来れば次世代の林業発展に繋がると感じました。



研修報告

株式会社MC河津 G

林業機械展示実演会研修に参加したことで、新しい林業機械にふれることが出来た。インターネットを通じて、作業中の動画等を確認することは出来るが、実際にさわること
で、今使っている機械と新しい機械をより細かく比べることができるのは、大変大きなメリットと感じた。

自社の作業現場内でデモ機を使った感想を当該会社のブース担当者と意見交換もでき、とても有意義な研修となった。

研修報告

株式会社MC河津 H

高性能林業機械が多い中、オペレータの技術も高くないと実感しました。

現在、フォワーダに乗っており、末口の直径を測る際に、機械から降りている動作が1日に何度かあり、今回の研修で見た、AIが搭載されたメガネをかけることにより、直径や腐れ、かけ、割れをAI測定・判断するため、作業の省力化や効率化が図れると感じました。

研修報告

株式会社MC河津 I

初めて林業機械展に参加させて頂き有難うございました。沢山の高性能林業機械の中で遠隔操作で無人重機を動かす技術には感動しました。

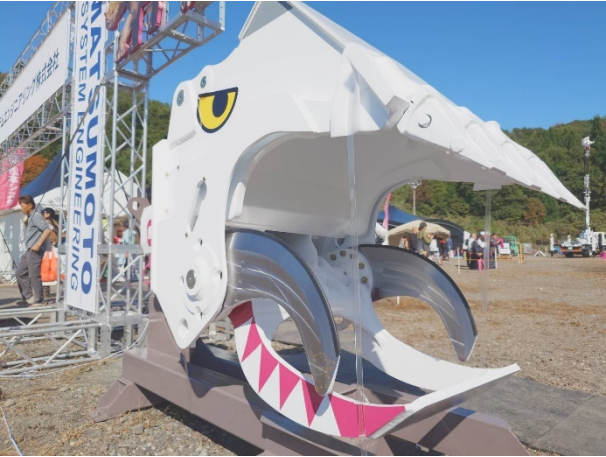
フェラーバンチャザウルスロボゾロ（二刀流）は大口径材を受け口、追い口作業が出来き50cm材の伐倒も可能とのことで、急傾斜地の現場作業（伐採・集材・作業路開設）に置いて、効率化が図れるバケットであることを感じました。次回の機会があれば参加したいと思えます。有難うございました。

研修報告

株式会社MC河津 J

今回私は初めて林業機械展研修に参加させていただきました。

初めて目にする林業機械がたくさんあり、グラップルとバケットとチェンソーが一体となったフェラーバケットグラップルやリモコンで重機の操作が出来るものなど初めて見ました。安全性や作業効率がどんどん向上していて、とても感心しました。これからも安全に効率良く作業していきたいと思えます。



研修報告

株式会社九州林機 K

自社のAFM550FHのロングリーチとコマツパルフィンガーのロングリーチのパットの違いを勉強することが出来た。取付金具の違い、壊れそうな所も勉強することが出来た。

研修報告

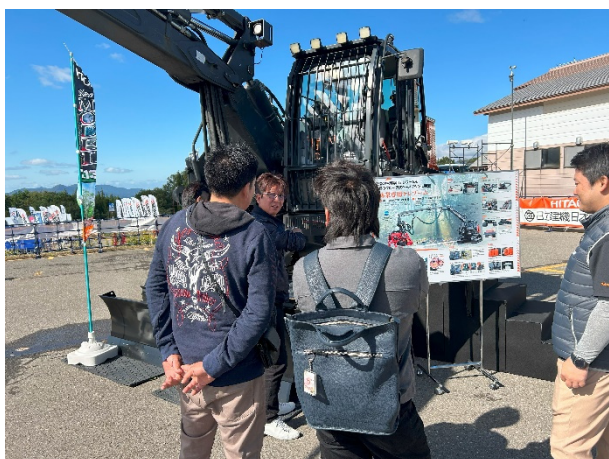
株式会社九州林機 L

林業機械展示実演会研修に参加したのは2回目なのですが、多くの林業機械が集まり、比較して勉強できることがすごいと思いました。今後は学んだことを作業の省力化や効率化を図っていきたい。

研修報告

株式会社九州林機 N

色々な高性能林業機械を見れたので、私にとってもとても勉強になりました。素材の生産性の向上や作業の省力化に取り組んでいきたい。





研修報告

有限会社綾垣林業 M

今回の研修では、自社でも使用している日立建機のテレboom仕様車機の新型車両や1台で多用途に活用できるアタッチメント脱着システム「P-Line」など省力化作業に期待できる製品について知ることが出来た。



研修報告

穴井林業 O

初めて林業機械展示会に参加しました。自動運転する下刈り機械や地拵え作業を省力化する根株破碎機などを見ました。また、遠隔操作（ラジコン操作）するグラップルやフォワーダなど新しい技術があることを学びました。



研修報告（公財）森林ネットおおいた P

イワフジ工業(株)が開発中のフェラバンチャーにソーチェーンが搭載されたヘッドが実演されており、掘削、伐倒、玉切り(丸太の送りは未装備のため元バチの落とし程度)今後開発が進めば、ヘッドの交換手間、作業車両の省力化等に繋がるのではないかと期待されています。

また、フォアローダーについて、運転席を改良しているメーカーがあり座席が2人乗り(移動用)、座席の天井部が開閉式になっており、座席後部に立った状態でグラップルローダーの操作が可能な機種が見られ、移動時の安全性等に考慮した機種がみられました。



研修報告（公財）森林ネットおおいた Q

各ブースにおいて、イベントやゲーム、機械を動かす体験ができたなど参加者の興味を引くような様々な工夫がなされていました。ヤマハ建機のブースでは、企業の取り組みや理念などを紹介しつつクイズ方式で学びながら見て回り正解したら景品をもらえる仕組みになっており挑戦している方が多かったです。研修を通して実演、展示以外にも企業の方に直接話しを聞けたり取り組みを知れる機会ができて良かったと感じました。

